



臨床美術ジャーナル Vol.5 No.1 (2016) 目次

【巻頭言】

自然と美術と臨床と私

尾池和夫 (京都造形芸術大学 学長/第7回臨床美術学会 大会長)

【原著】

臨床美術による意味生成ケア—学びの要件—今—この意味生成の相互行為の関係性の成り立ち

北澤晃 (富山福祉短期大学) 他

リワークプログラムにおける、臨床美術プログラムの量的検証

田島悠史 (宝塚大学東京メディア芸術学部) 他

美術表現活動が児童養護施設入所児童に与える効果について—臨床美術介入による効果検証—

保坂遊 (東京家政大学) 他

固有色の欠如による創造性への影響

須藤光和 (芸術造形研究所)

臨床美術における色の環境が表現にもたらす影響に関する研究

阿部一樹 (芸術造形研究所)

幼児の造形活動における取組の変化—保育における一般的造形活動手法と臨床美術との比較から—

上村裕樹 (帯広大谷短期大学) 他

【総説】

臨床美術の贈り物—5年間の「作品」が語るもの

—認知症スクリーニング検査との対比を通して—

内田栄子 (医療法人社団翔洋会) 他

脳活動からみる芸術鑑賞・政策

河地庸介 (東北福祉大学完成福祉研究所)



【事例報告】

職場内ストレス軽減を目的とする、小スペース短時間の臨床美術プログラムの事例研究

木野内美里（株式会社フェリシモ） 他

視覚に障がいのある方への「りんごの量感画」実践報告

水谷聡美（大垣女子短期大学幼児教育学科）

知的障害者施設における日常活動としての美術

一 南山城学園障害者デイサービスセンターわこうでの取り組み一

齋藤雅恵（アート&ヘルスケア 臨床美術 アトリエ苗） 他

【研究報告】

臨床美術によって自己肯定感を高める

一 東京都教育ビジョン目標に対する臨床美術によるアプローチ一

丸本真代（臨床美術士）

【第7回大会（2015年）パネルディスカッション講演録】

社会と芸術 ～人間と向き合う活動～

本間正人（京都造形芸術大学 教授）

学習学と臨床美術

本間正人（京都造形芸術大学 教授）

社会と芸術 ～人間と向き合う活動～

河合規仁（東北文教大学 准教授）